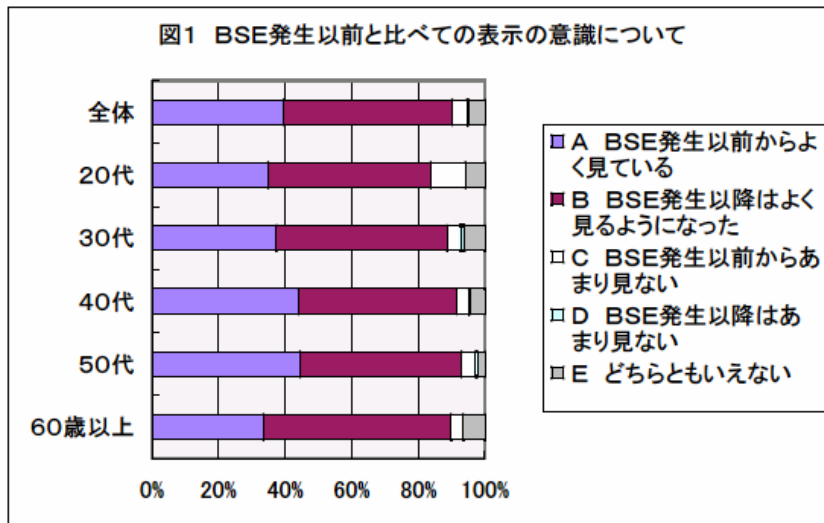


国民の食品の安全に対する関心の高まり

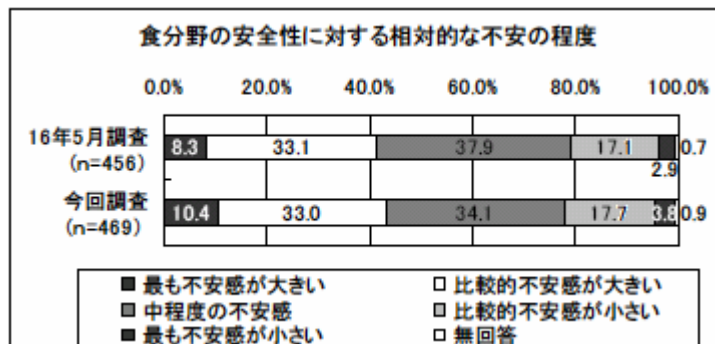
1 農林水産省「平成14年度食料品消費モニター第2回定期調査結果の概要について」(平成15年2月)

平成13年9月、国内における初のBSEの発生の確認以後、牛肉を購入する際にBSE発生以前より表示を注意して見るようになったかを聞いたところ、「BSE発生以前はあまり見ていなかったが、BSE発生以降はよく見るようになった」と回答した人が5割以上を占めた。



2 食品安全委員会「食品安全モニター課題報告「食の安全性に関する意識等について」の結果」(平成17年5月)

自然災害、環境問題、犯罪、交通事故など日常生活を取り巻く安全の分野の中で、食の安全の分野に対する相対的な不安がどの程度かについて、「他分野よりも大きい」と回答した人が4割を超えた。



- 3 農林水産省「安全・安心モニター（第2回）回答結果」（平成18年2月）
 食品の安全性について、98%の人々が「関心がある」又は「どちらかとい
 えば関心がある」と回答。

問1	「食品の安全性」に関心がありますか。(単数回答)		
①	関心がある	60%	(回答者数) 1,541
②	どちらかといえば関心がある	38%	
③	どちらかといえば関心がない	2%	
④	関心がない	0%	

問2	どのような時に「食品の安全性」について考えますか。(単数回答)		
①	日常的に考えている	36%	(回答者数) 1,541
②	日常的にはではないが、時々考える	48%	
③	食品の安全に関する問題が起こったときには考える	15%	
④	あまり考えない	0%	